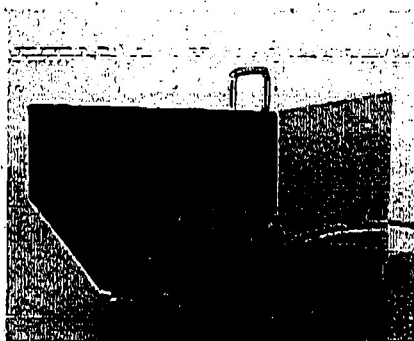


板金加工のモハラテクニカ



重さは約10kgで持ち運びも可能

開発した新製品の名称は「ウルトランニック」で、価格は一台四十万円。周波数をランダムに変え続けて、動物が音に慣れないように工夫したのが特徴。音を出し始めて数時間から数週間程度で、近辺に動物が寄りつかなくなるという。一度寄りつかなくなると、装置を別の場所に移動しても、ばらばらくは効果が持続する。

首の届く範囲は五十センチ程度。家庭用の百球の電源を使う。これまでインシシやサルなどの害獣を撃退するには、電気柵で防べなかった方法があったが、飛び越えられたり、柵の下を掘り返されたりして完全に

新製品開発 農作物など被害防ぐ

板金加工のモハラテクニカ(群馬県高崎市、茂原純一社長)はガラスやインシシなどの動物を超音波などを使って撃退する新製品を開発した。複数の周波数を組み合わせて動物が不快に感じる音を作り出し、土壌や農作物を荒らされるといった被害を防ぐ。農家などでの需要を見込んでおり、今後販売を本格化する方針だ。

超音波で害獣を撃退

既に特許申請を済ませており、七月にも特許がおりる見込み。現時点で撃退効果を確認している動物はガラス、サル、インシシで、一台の装置ですれの動物にも対応できる。ただ、それぞれの動物が不快に感じる周波

数は異なるため、装置を導入する際に特定の周波数を出すように設定する。今後、ネズミなど他の動物にも効く周波数を見つめるため、さらにテストを重ねる。

人体への悪影響は確認されていないが、人間も

長く聞き続けると不快に感じる周波数の音も出ているため、同社は人の作業中は音を切るよう働めている。

トヨタ自動車の愛知県内のモータープールに七台を導入したところ、新車を保護するシートをカ

ラスがついては取り除く被害を減らすことができたという。

今後は農家やモータープールのほか、魚の養殖場、ゴルフ場などへの販売を想定している。「年間六百台の販売を目指す」(茂原社長)という。